

2/15 県との話し合いメモ

時 間 19:00~21:30

メンバー 県：鈴木（大経営）、野口（労対）、中島（労対） 3名

「連合」：代表委員 [REDACTED] 事務局長 [REDACTED]

事務局 [REDACTED]

海老根（東芝） 以上9名

・「連合」メンバーについて

- 県は、当初代表委員と事務局長を対象に召集したが、こちらから11/8県総会で配布された99/1/30集会資料の役員名簿記載者の参加を要求した結果、追加召集された。
- 主に鈴木がしゃべった。野口は、[REDACTED]（千代田）を参加からはずした件だけしゃべり、中島は記録専門。
- 配布されたものは、11/8決定レジュメと「連合」関係付属資料3点。
- 論議は、11/8総会決定の手続き問題に終始し、内容には入らなかった。次回は3/16を確認して終了。
- こちらは、[REDACTED]が中心に発言。[REDACTED]は最後に1回発言。[REDACTED]も積極的に発言。
- 海老根は一人だけ県側に立ち、こちらの主張や発言を繰り返し妨害。論争は、こちら：県＝海老根で進んだ。
- 当初、21時前に終了予定だったが、21時過ぎに休憩（15分程度）となり、県側が別室で意思統一をはかり、4項目の見解をこちらに提示した。
- 見解について再度、こちらが意見を言い、その中で[REDACTED]発言を巡って論議が白熱した。

1. 内容

- ①野口：今日の会議は、当初、代表委員・事務局長だったが、みなさんから意見が出て、このようなメンバーになった。苦勞をして、中央の指導も受けて、内部の不団結を克服する指導方針を決めた。鈴木さんより40分位その報告をして、その後、みなさんの意見をもらい話し合いを進めていきたい。
- ②[REDACTED]：会議の進め方については、報告を聞く前に次のことを話し合いたい。
 - ・[REDACTED]さんはなぜ参加できないのか。（規約上だけでそれ以上いわない）
 - ・無断で資料を全体に配布し、また、内容に関係ない役員名簿も配布した。これは人権侵害であり、名誉毀損だ。どの規模で配布したのか。
 - ・決定は、我々の話を一度も聞かず決めた。これは規約違反ではないか。回収し訂正ををだすこと。
 - ・以上について明確にしなければ、信頼ができないなかで話を聞くわけには行かない。
- ③会議招集の不備について、[REDACTED]と野口の論議。野口は事実経過について訂正。
- ④その後、②について論議が集中。
- ⑤鈴木、海老根が先に報告をさせてくれと執拗。海老根は内容に入らせないようにしている等と発言。海老根との論争にもなる。海老根の立場が浮き彫りに。（事務局会議も出ず、役員として無責任だと追及。「居住からも電話があるが県が正しいと私はいっていると開き直り」）
また、休憩時間でも海老根をみんなで追及。
- ⑥鈴木：まとめるまで1年かかった。早く内容を伝えないと不団結がいつそう拡大する。深刻な状況だ。千代田・日立に力が入った。事前に論議できなかったことは反省している。県の方針は変わった。大衆運動にふさわしい手続きが必要。県・地区またローカルセンターの今後の努力がいる。一般的決定でなく指導方針の決定。見解だ。
誤解を招くタイトルだ。「誤り」は争議団が中心。
運動を進める上での理論上の見解だ。決定でも押しつけることはしない。
- ⑦[REDACTED]：東京から除名されたのかの話がある。これは機関がやっているに違いない。
[REDACTED]：地区が勝手に「連合」集会ポスターをはがした。許せない。
- ⑧野口：決定は、「連合」資料と他からの聞き取りでやったと発言。海老根からの情報でやったんだろうと追及。全員が反論。
各地区配布で直接関係ない居住支部にも配布している事実について、野口は「ない」といったが、中島が「北東地区は配布した」と発言。（中島は会議中これだけ発言）

- ⑨当事者の意見も聞かず決定は世間の常識からもおかしい。民主主義がない。等こもごも発言。
- ⑩休憩後の県見解（3人で話し合ったまとめ）の提案。
- 1, 意見は正面から受け止める。
 - 2, 当事者の意見を事前に聞かなかったこと
対応は十分だったとは思わない。規約違反については常任委員会に報告し、集団で検討し、その回答を次回する
 - 3, 誤りと断定したレジュメについて
タイトルの表現を含めて常任委員会で検討し、次回回答する。
 - 4, 次回は、冒頭県の回答ののち、内容を聞いてほしい。
- ⑪県見解について
- ・反省するならば具体的な行動をとってほしい。
 - ・各地区で報告内容が違う。指導方針の内容の理解が違う。我々は被害者。被害者に対する是正を具体的に行うこと。
 - ・至急、会議等で県の考えを深めて回答をすべき。放置すればどんどん我々が跳ね上がりのレッテルが広がる。
 - ・我々の話を軽く受け止めないでほしい。人生をかけている。
- ⑫■■■■：誤った手続きで決定した。話し合いがまとまるまで文書を撤回すべき。
- ⑬鈴木がムキになる。「これは全文撤回の意見か。これまで話し合ってきたのは「連合」問題でやってきたのではないか。」
- ：中心は争議でも「連合」は関連してる流れになっている。全文だ。
- 鈴木：できない。大高さんは新たな問題をだしてきた。
- ⑭野口：今出た意見を含め、回答する。常任委員会の検討時間を含め、3 / 16。全員了解。
- 2 / 17 ■■■■さんのコメント
- ・鈴木が「火に油を注ぐ発言だ」 ■■■■「俺はあの場をまとめるために発言した」
 - ・鈴木と小池は違う。小池が頑強だ。15日の鈴木の話はニュアンスだが弱い。
 - ・革新懇はあってもいいが、「連合」とは性格が違う。
 - ・中央がやったに違いない。県の主体性はない。